

一般会計
補正予算

1億2,062万円を増額補正

条例改正案など9議案を承認・可決

6月定例議会概要

6月定例議会は、9日から17日までの9日間で行いました。
町長からは、条例改正や補正予算など9件の議案が提出され、全議案可決しました。
議員発議では、教育予算の拡充を求める意見書を全会一致で可決し、国や県に提出しました。
一般質問は7人が行い、猛暑の時期を前に、小・中学校の暑さ対策に関する質問や、排水問題、環境整備等について執行部の考えを質しました。

がんばる地域交付金事業

(2億4,219万円)
●財源の組み替えを含む
地域経済の活性化を図ることを目的として、今回限りの特別の措置です。

- ① 保育園施設整備事業
 - ② 須古小児童保育所改修事業
 - ③ 農道橋整備事業
 - ④ 町道新設改良事業
 - ⑤ 白石小学校汚水設備等改修整備事業
 - ⑥ 福富社会体育館改修事業
- (問合せ先 企画財政課)

白石町税条例の一部を改正する条例を可決

主な内容としては法人税の税率改正、軽自動車税の税率改正となっております。
詳しい内容につきましては広報、ホームページ及び行政放送でお知らせする予定です。
(問合せ先 税務課)

白石町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を可決

保護者、地域住民、教育委員会、校長など新たに学校運営協議会を置く。役割として、校長の作成する学校運営の基本方針の説明を受け検討し承認します。学校運営に関する意見を教育委員会、校長に述べることができます。教職員の任用に関しても教育委員会に意見を述べることができます。
以上のように、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、学校・家庭・地域が一体となつてよりよい教育の実現を目指すものです。
(問合せ先 学校教育課)

町道路線の認定

- 新明南北1号線 ○新明南北2号線
 - 新明東西5号線 ○新拓1号線
- 認定の背景は、今年度に町道200kmの路面性状化調査で舗装の轍堀れや割れを確認し、27年度から国庫補助事業の道路ストック事業で路面改修を計画しています。
□ 調査対象が町道のみとなっておりますので、町道に認定して事業化を図るものです。

【農業委員の推薦】

農業委員会委員について、議会から推薦する方法で定められているため、4名の方を推薦しました。

- 内野さよ子 (白石町大字馬洗) □
- 小野 愛子 (白石町大字築切) □
- 久原 菊恵 (白石町大字福富) □
- 井崎 陽子 (白石町大字牛屋) □

各議員の賛否を公表

賛成...○ 反対...● 欠席...欠

議案番号	議案	結果	川崎一平	前田弘次郎	溝口誠	大串武次	吉岡英允	片淵彰	草場祥則	片淵栄二郎	久原久男	秀島和善	井崎好信	大串弘昭	内野さよ子	西山清則	岩永英毅	溝上良夫	久原房義	
29	専決処分の承認(税条例の一部を改正する条例)	承認	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
30	専決処分の承認(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
31	専決処分の承認(平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	専決処分の承認(平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	町道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	佐賀県市町総合事務組合規約の変更に係る協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	平成26年度一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	新有明漁港水産生産基盤整備事業泊地浚渫工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第1号	公益財団法人白石町文化振興財団に関する報告	報告																		
報告第2号	平成25年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	報告																		
報告第3号	平成25年度一般会計継続費繰越計算書の報告	報告																		
報告第4号	専決処分の報告(和解及び損害賠償額の決定)	報告																		
発議第5号	教育予算の拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
推薦第1号	農業委員会委員の議会推薦	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。(過半数議決の場合)



前田 弘次郎 議員

問 少子化問題について

答 人口減少のスピードを緩める努力をする

議員 佐賀新聞の報道において、「消滅可能性都市」として、白石町も県内で8番目の減少率との記事が載った。この記事を見て担当課長は「どう感じられたか。企画財政課長 地方自治に関わる我々職員も、議員の皆様も少なからず驚きを覚えられたと思う。子供を生む年代の女性が大幅に減少すると、そのマイナス効果も、大きく出てくる。

問 婚活の新しい政策はあるのか

答 婚活サポーターを設置し活動する

議員 新年度になり、担当課長になって新しい政策はあるのか。企画財政課長 人口減少を防ぐ、または少しでも遅らせるためには子育て支援の充実も大事だが、まず婚活数を増やす婚活事業が重要な政策と捉えている。町長の公約事項である婚活事業を、今年の7月から婚活サポーターを設置するため、現在17名の内定をしている。PR用ののぼり旗を作成して、結婚希望者や



◆白石町は婚活を応援します

保護者向けのセミナーをして、婚活サポーターによる相談会を計画して行きたいと考えている。婚活サポーターへの相談の充実と、婚活サポーターのネットワークの構築をして婚活サポーターを中心としたきめ細かな活動をしていきたいと考えている。

問 道の駅を作る考えはあるのか

答 平成27年度内には登録までいきたい

議員 道の駅のその後の経過は。建設課長 道の駅の登録は、国土交通省の所管である。昨年の10月と今年の2月に、佐賀県道路課と役場の関係部署で、道の駅の制度や採択条件など、白石町の現状について事前の協議を行っている。今年度は4月下旬に協議を行った。色々な課題を県の道路課で整備

問 百貫線の県道昇格はできないか

答 県道認定は厳しい

議員 トンネルの取り付け道路として、町道の路線番号78百貫線の県道昇格は出来ないか。建設課長 主要な観光地としての位置付けよりも、景勝地としての位置づけになり、県道認定には厳しい。

問 小・中学校教室の暑さ対策はどうしているのか

答 暑さ対策は行っており、冷房設備は今後検討する

議員 いよいよ梅雨の時期を迎え暑い夏となるが、小・中学校の暑さ対策はどのようにしているのか。学校教育課長 水分の補給や窓に遮光のすだれ、植物栽培、体調管理と于エック等行っている。議員 地球温暖化により真夏日、猛暑日が増え、夏休み前後約50日間続く中での授業であり、学習環境は劣悪である。改善を望むが。学校教育課長 現在、扇風機が須古小学校、白石中学校、有明中学校に設置されている。議員 有明中学校の設置状況を視察したところ、教室に1台だけだったが暑さ対策に有効であると同った。公的教育的場で設置がまちまちなので、導入の



◆小学校に設置してある扇風機

問 農地中間管理事業発足による町の対応は

答 農地配分計画を作成し、農地集約を今後積極的に推進していく

議員 県農業公社が農地中間管理機構として発足した。農地配分計画の作成となる。農地仲介システムの中にインターネットを使って行っている町もあるが、本町の取り組みはどうなっているのか。産業課長 今後の方針については、業務的にまだ見えない部分もあり相談しながら対応していきたい。今後10年間で現在5割である担い手農家への農地集約を8割達成のためしっかりと取り組んでいきたい。

問 緊急医療情報キットの早期導入を

答 先進地視察を参考にして導入を検討したい

議員 緊急医療情報キットを導入されている福岡県大刀洗町を社会福祉協議会と関係者が視察した。本町での導入はどうか。長寿社会課長 災害時の要援護者台帳を緊急時にも活用できるように、社会福祉協議会、民生委員会と協議し、導入できるようにしていきたい。

問 白石町総合計画の策定における地域産業振興は

答 農林漁業、商業、観光による地域産業の振興を他市町との連携で進める

議員 白石町総合計画の策定が本年度検討されるが町の産業振興の骨太の方針はどのようにしていきたいのか。同。企画財政課長 平成30年の有明沿岸道路福富インター開通で、人の物の流れが変わる。近隣の市町の施設等の活用方法も考慮して策定を審議したい。議員 白石の農産物を中心に一日楽しめるまちづくりを総合計画の中に取り入れてほしい。町長 白石町の恵まれた環境とすばらしい農産物、歴史ある史跡等他市町と連携して産業が発展する計画にしていきたい。



溝口 誠 議員



秀島 和善 議員

問 子どもの医療費無料化を高校卒業まで拡充を

答 厳しい財政運営のなか現在の施策を維持する

議員 内閣府(2005)の「少子化社会対策に関する子育て女性の意識調査」では、子どものいる20〜49歳の女性を対象に、少子化対策として重要であると考えているものを尋ねている。その結果、「医療費補助などを含む経済的支援措置」が69.9%で最多であった。

よって、子育て佐賀県一を目指して、子どもの医療費無料化の範囲を高校卒業までに広げること。

町長 少子高齢化が迫るなか厳しい財政運営を迫られている。子どもの医療費を高校まで拡充することは考えていない。

問 非核・平和の町宣言を目に見える形で伝えるべき

答 広報・ホームページで町民に伝えていきたい

議員 被爆70周年、2015年に向けて多くの国々が「核兵器のない世界の達成」の合意実行、核兵器禁止条約の交渉開始を求めて行動を起こしている。それを実際に実らせるための力ギを握っているのは、市民社会の運動と世論である。「生きてもうちに核兵器の廃絶を」70年に及ぶ被爆者の願いに答え、「核兵器全面禁止」での内外の行動と共同を前進させるために全力を挙げる時である。

国政では、世界の流れに逆行し、「戦争する国づくり」に暴走する

対応策はどう考えているのか。

町長 3校の歴史・役割

割は貴重なものであり、統廃合には反対し、存続を要望していきたい。

問 佐賀農業高校・白石高校・杵島商業高校の存続を

答 歴史と伝統校である3校の存続を要望していく

議員 佐賀県教育委員会の県立高校再編計画素案で統廃合対象になっている杵島郡内の3校について関係する3町長が5月7日、県教委に対し、3校それぞれ単独での存続を求める要望書を提出した。

要望書は素案に反対する理由として、3学科を持つ統合校では、学校経営の方向性が統一できない▼3学科7学級では、学科別の学級が少なく、十分な学習支援体制が取れない▼学校行事や時間割が複雑化する▼学科の混在は、生徒の活動が多様になり、部活動の制限が増えるの4点を挙げて、全県的な視野で再編計画を見直し、杵島地区3校の各学校の存続を希望するとしている。このことについての町長の今後の

問 保育園、小・中学校にエアコンの設置をすべき

答 随時計画的に設置を検討していく

議員 公立学校の普通教室の空調設備は都市部を中心に広がりを見せている。学習環境の悪化や熱中症など健康面の不安もある。よって全ての保育園、小・中学校にエアコンを設置すべきだと考える。

町長 教育現場の環境を充実していく方向で計画的にエアコン設置については検討していく。

問 町道の維持管理において基金の創設を

答 国庫補助の拡大を考えていく

議員 本町の町道は総延長430kmと聞いている。整備については、国庫補助の交付金事業や過疎債を活用して対応されているが、建設が追いつかない状況である。合併後の改良、補修の状況は。

設改良は8年間で32.448km、年平均4kmであり、補修は工法が多岐にわたり延長は抽出することが困難だが、路線を整備した。

議員 町内を回ってみると傷みが多く見受けられ、幅員も極端に狭いところがある。計画的な建設工事をするべきでは。

建設課長 国の方針では既存の道路や橋を長

問 エアコンを低学年からでも設置すべきでは

答 財政的な負担が大きい

く使う長寿命化という考えである。本町でも道路ストック点検事業を活かしコスト削減を図っていく。

要で、基金の創設をしては。

町長 維持管理については国庫補助の拡大をお願いしていく。基金の創設は考えていない。

議員 保育園、小・中学校のエアコンの設置状況をみると保育園では、平成26年計画を含め全室設置であるが、小・中学校では普通教室には設置されていない。

県内でも半数以下の市、町が設置や計画をされている。低学年の1階からでも設置すべきでは。

企画財政課長 全教室設置するとなると億円程度の事業となり、財政的にも負担が大きいく補助対象の地域になっていない。

議員 洋式トイレの整備では保育園では80

問 余力のあるポンプ場に排水はできないか

答 緊急時お願いした経緯がある

議員 大雨時の只江川の排水についてであるが、白石樋門からの排水ができない小潮時期と重なるゴルフ場等に浸水や冠水の被害が多く出ているのが現状である。ポンプ場の基準は。

農村整備課長 農地の冠水防止が目的で設置している。過去緊急時に2回ほど排水委員にお願いした経緯があるが、恒常的にはできない。

議員 新明側がある程度水位が下がった状況で余力のある右岸のポンプ場に排水をお願いできないか。

問 余力のあるポンプ場に排水はできないか

答 緊急時お願いした経緯がある

議員 大雨時の只江川の排水についてであるが、白石樋門からの排水ができない小潮時期と重なるゴルフ場等に浸水や冠水の被害が多く出ているのが現状である。ポンプ場の基準は。

建設課長 毎秒7.5トンのポンプが3基あり、TPで水位マイナス1.0mからマイナス0.8mまで1号から3号ま



◆雨季前にポンプ場を視察する議員と消防団

※TPとは…東京湾平均海面のことで全国の標高の基準となる海水面の高さを表す用語です。

井崎 好信 議員



内野さよ子 議員

問 社会状況の変化の中で第2次総合計画の策定は

答 厳しい財政状況が予想されるが着実に推進する

議員 今年度、第2次総合計画の策定が行われる。人口減少社会を迎えて、基本構想、総合計画も変化して行くことと留意し考えていくのか。

企画財政課長 ①現総合計画をベースに社会状況の変化に対応②現計画の検証③少子化、人口減少に際した持続可能なまちづくり計画

④町民の方の意見を参考に、わかりやすい言葉の表現など留意したい。

議員 合併後10年目を迎え、総合計画、財政計画、行政改革は一体的な取り組みがさらに重要になるか。

企画財政課長 今後5年間の予想される財政計画についてヒアリングを行った。合併10年経過後、地方交付税に

ついては一本算定へ移行し、今後5年間で減少していく。町の歳入も減少していくため、基金の取り崩しや起債などを行うこと。

で農業所得が占める割合は7%、給与所得は76.3%、年金所得は7.2%である。給与所得の多い生産年齢人口が減少すれば税収は落ちることが考えられる。

議員 白石町の自主財源である税収(住民税など)は農業、給与所得など、どのような状況か。

議員 白石町の自主財源である税収(住民税など)は農業、給与所得など、どのような状況か。

問 原子力災害時の避難受け入れが問題となっているが

答 佐賀県避難計画に準じ対応している

議員 九州電力玄海原発の事故時の住民避難受け入れが問題となっている。佐賀県からの方針や説明はどうなっているのか。

総務課長 平成23年8月に佐賀県避難計画が20市町の担当者会議、課長会議で調整が図られ、首長の了承を得て策定された。

らの受け入れはしななければならぬ。しかし、白石町民の46%にあたる11909人を唐津市から受け入れた場合、本町自体も被災地(地震・洪水等)となることもある。どのように考えているのか。

議員 机上の考えだけでなく、もう少し県

も町も現実的にしっかりと考えてほしい。緊急連絡メールの登録は出ているのか。



◆歌垣公園近くのバラ園

問 須古杵島山の管理状況は

答 白石町の財産であり、調査したい

議員 須古歌垣バラ園の廃園に伴う新聞報道がなされ、役場に問い合わせが多くあったと聞く。バラ園は駐車場などの問題があった。周辺杵島山の状況はどのようになっているか。

議員 須古歌垣バラ園の廃園に伴う新聞報道がなされ、役場に問い合わせが多くあったと聞く。バラ園は駐車場などの問題があった。周辺杵島山の状況はどのようになっているか。

問 歴史的な文化財等を活かしたまちづくりを

答 まちづくりの資産として取り組んでいく

議員 歴史的な文化財、史跡、干拓、有明海等を活かしたまちづくりをどのように考えるか。

企画財政課長 歴史的な文化財、史跡、干拓の環境等は歴史遺産や自然遺産として後世に引き継ぐことも大事であるが、現実にまちづくりのための資産として活用していくことも必要であり、町としても取り組まなければならない

ないことである。活用する方法としては、まちづくりの起爆剤となりうる可能性があると思う。

議員 私は文化財の6次産業化と聞いている。そのための施策はどのようなに行っているのか。

企画財政課長 町ではホームページや印刷物による広報のほか、生涯教育の観点から、町内向けには出前講座で、

町外からの来訪者には担当学芸員が現地を案内しながら紹介している。

議員 交流人口を増やすために広域的な観光ルートを作り観光協会を設立すべきと思うが、

産業課長 まちの活性化は本町にとって大きな課題であり、交流人口の増大を目指す上で観光の果たす役割は不可欠なものである。観光協会は現在、考えていないが、地域を訪れる来訪者に対して「おもてなしの心」で接することも、地域の観光交流に関する取り組みに積極的に参画していただけるよう事業者、団体、行政が協働できる体制を進めていきたい。



草場祥則 議員

議員 文化財と農業を複合させて交流人口を増やし、町民の所得向上につなげる方策を考

えるべきと思うが、

産業課長 近年、都市住民の中には余暇を利用して農山漁村に滞在し

親しみとうとする動きがみられる。現在、本町では日帰り観光、体験が主流となっているが、

問 旧3町が合併した現在、同じような施設が必要か

答 同じような施設を何カ所も抱えていく不合理な面もでてくる



◆陽興寺・伝平井一族墓地 (白石地域)

議員 旧3町が合併した現在、同じような施設が必要か。

企画財政課長 それぞれの施設には各々の特色があり、役割分担しながら住民の利便性向上のため利用されている。

しかし、同じような施設を何カ所も抱えていく不合理な面も出てくる。今、総務省の方ではおにも合併市町村におけるそういった重複施設の解体費用に地方債を充てることが出来るように改正が行われている。今後、冒頭に申し上げたような問題や、防災対策の面も含めて町の施設全般にわたる議論を重ねていく必要があると考えている。



西山 清則 議員

問 第二線堤防に茂っている草木の除去を

答 景観等の問題は地元の関係者と調整を図る

議員 福富の朝日堀、大福堀、昭和堀と第二線堤防が続いているが、その堤防と地沈26号、27号等の間はどこが管理しているのか。そこに生い茂っている草木は除去できないものか。また、そこに桜の木等を植樹することはできないのか。

昭和堀の第二線堤防は、面は今年度、県で伐採・除草工事を発注すると聞いています。環境・景観の問題等は地元の関係者と調整を図って進めます。



◆草木が繁茂している第二線堤防

問 パークゴルフ場については前向きに考えていただきたい
答 秋までに結論を出したい

議員 パークゴルフ場については、昨年の6月議会では「調査研究をさせていただきたい」12月議会では、「いろいろな面から将来的なことを考え検討させて

いただきたい」と答弁されたが、その後の経過はよくないのか。人口減になっている中で、あつたらしいという施設であるのか、本当に必

農村整備課長 植栽については、目的外使用になるので、国、県との協議をしなければならぬ。

議員 福富なかよし公園より有明1号排水機場までの間、水路沿いの木が枯れてなくなっている所は補充されないのか。

農村整備課長 植生の悪い所は専門業者の意見を聞きながら、その土地に合った樹木や病害虫に強い木の選定を考えている。

要なのか等各課長から意見が出ている。
議員 近くに施設があれば競技人口も増えると思う。どこの課長が言われたのか、もっと前向きに考えていただきたい。あまり利用されていない「ひだまり公園」の年間維持費

は250万円かかっている。少し整地すれば出来ると思うが、健康づくりのためにも早急に取りかかっほしい。
町長 人との交流、親子三世代で楽しめる、健康増進につながるものだと思う。秋までに結論を出したい。

問 カメの被害対策は考えているか

答 今後、農協・普及センターと考える
していきたい

議員 町内の特産物は米をはじめ多くの物があるが、かも、カラス、タヌキ、イノシシ等の被害対策はどのようにされているか。

産業課長 年間を通して調査をして被害防止対策に努めている。

議員 近年、水路等にカメが増えている。このカメはミシシッピ

アカミミカメで日本のカメと違ってレンコンに被害を及ぼす。被害が広がる前に早急に対策を考えていただきたいと思うが。

産業課長 カメの被害は初めて聞いたが、確認後、農協・普及センター等を交えていきたいと思う。

意見書を国に提出

教育予算拡充を求める意見書

2011年度政府予算の成立によって、小学校1年生の35人以下学級を実現するために必要な改正義務標準法が施行されることとなった。今回の義務標準法改正条文の附則には、公立の小学校2年生から中学校3年生までの学級編成標準を順次に改定すること、その他の措置を講ずることについて検討を行うことが求められており、それらに必要な安定した財源の確保に努めることも明記されている。このことから、今後、全学年における35人以下学級を早急に、着実に実行することは、国としての大きな責務であると考えます。

また、子どもたちが全国どこに住んでいても、どのような環境に育っていても、一定水準の教育を受けられるという、「教育の機会均等」は憲法・教育基本法にも謳われた自明の権利である。しかしながら、我が国のGDPに占める教育費公財政支出の割合は、OECD加盟国(31カ国)の中において最下位であり、教育に対する公財政支出が国際的にも低いと言わざるを得ない。そして、そのしわ寄せが国民の家計を大きく圧迫しており、親の経済力の違いによる「教育格差」の問題ともなっている。さらに、地方自治体財政にお

問 パークゴルフ場については前向きに考えていただきたい
答 秋までに結論を出したい

議員 パークゴルフ場については、昨年の6月議会では「調査研究をさせていただきたい」12月議会では、「いろいろな面から将来的なことを考え検討させて

いただきたい」と答弁されたが、その後の経過はよくないのか。人口減になっている中で、あつたらしいという施設であるのか、本当に必

農村整備課長 植栽については、目的外使用になるので、国、県との協議をしなければならぬ。

議員 福富なかよし公園より有明1号排水機場までの間、水路沿いの木が枯れてなくなっている所は補充されないのか。

農村整備課長 植生の悪い所は専門業者の意見を聞きながら、その土地に合った樹木や病害虫に強い木の選定を考えている。

議会出前講座 報告

5月12日 須古三町老人会

出前講座の議員第1班(久原房義班長以下4人)は、須古三町老人会(江口泰彦会長)に出向き、会員約23人に議会報告と意見交換を行った。

- 次のような意見が交わされた。
・議員定数を減らして報酬を上げてやるべき。
・もっと若い人が議員に出れるような方を。
・防災無線が聞こえにくい。
・町税の滞納はどのくらいあるのか。



◆須古三町老人会での出前講座

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
平成26年6月17日提出

常任委員会 概要報告

総務常任委員会

財政健全化と循環型の

地域社会づくり

久原房義委員長ら6人は5月20日に、福岡県大木町のおおき環境センターの視察を実施した。大木町は、人口約一万四千五百人の町で、合併はせずに限られた財源をうまく使うことを念頭に多額の費用を要する下水道事業には取り組まない方針で合併浄化槽の普及を図り、その普及率は70%になっている。

また、生ゴミやし尿、浄化槽汚泥が増大する中で、おおき環境センターを町の中心部に農産物直売所、地産地消のレストランを備えた道の駅と一体的に建設され、住民の皆さんとの協働により、生ゴミやし尿などからエネルギーを回収したり、堆肥化して液肥として農地にもどす取り組みがされていた。地域が一体となって取り組まれる環境にやさしい循環型の地域社会づくりの実践を学んだ。



◆おおき環境センター「くるるん」

文教厚生常任委員会

町の文化財・史跡に触れ

白石町の魅力を再発見

内野さよ子委員長ら6人は4月28日に、白石町重要文化財・史跡等の現地視察を行った。初めに秀津地区内の泰盛山秀林寺を訪れた。世に言う「鍋島のお家騒動」があるが、化け猫騒動の発端には肥前国の支配権が龍造寺家から鍋島家へ移行したという龍造寺家直系をめぐる正当性にかかわる背景があることの説明を受けた。



◆妻山神社

この後、須古杵島山系に移動し、法泉寺から妻山神社、安福寺の史跡をめぐった。須古小学校敷地内にある須古鍋島家の庭園跡や現在、国や県の城館調査が行われている須古高城の龍造寺信基の石垣、虎口跡など当時の面影を残していた。最後に、陽興寺を訪れたが須古杵島山系には龍造寺家、鍋島家ゆかりのお寺、神社も多くあった。今回は町の重要文化財や史跡の一部ではあったが、あらためて白石町の歴史を実感した。

産業建設常任委員会

町内の6次産業化工場を視察

大串弘昭委員長ら6人は4月25日に、白石町新拓地内にある(有)マルハ園芸(原広宣 代表取締役)を訪問し加工場施設を視察した。白石の特産品であるレンコン、玉ねぎを利用した加工品の製造販売について説明を受けた。本町では平成26年度の主要事業として、町内の農林漁業者とそれに関連する中小企業者の連携で6次産業に向けた事業を推進している。今後は、町内の特産品を単に一次産品として販売するにとどまらず、付加価値を付けた商品開発が白石農業が生き残れる道だと考える。このような6次産業の起業の創設、それに伴う商品の販路拡大に対して大いに協賛し、注意深く見守っていききたいと感じた。



◆マルハ園芸で加工された6次産品

議会改革特別委員会

議員定数適正化への取組み

議会改革特別委員会においては、議会の改革を図り、活性化と議会機能の一層の向上を目指し鋭意取り組んでいる。

今回は、区長会より提出された議員定数削減に関する要望について、現在までの取組みの状況を5月15日に開催された駐在員会で中間報告を行った。

経過及び県内の市町の中での本町議会の状況について報告し、次期改選の約一年半前までには最終結論を議会として責任もって出すことを報告した。

なお、今後も町民の皆さまのご意見を十分に拝聴しながら議員定数の適正化に向けて取り組んでいく。

町名	住記人口 (H25.3末)	議員定数	一議員当りの住民の数
吉野ヶ里町	16,219	12	1,352
基山町	17,587	13	1,353
上峰町	9,587	10	959
みやき町	25,915	16	1,620
玄海町	6,300	12	525
有田町	21,201	16	1,325
大町町	7,185	10	719
江北町	9,715	10	972
白石町	25,331	18	1,407
太良町	9,838	12	820

議会戦隊 炊飯ジャー

第3話「要望書」 作: Sachiemon



※「要望書」とは…
地域の同意を得て物事の実現を強く望むことが書かれた書類

議会ポスト

へご意見を

議員の一般質問にもあったように、大水の時には前もって調査・開門・ポンプアップをお願いしたい。
(80歳代 男性)

全議員が一般質問をされ、町政の問題が多方面から活発に議論されることを望みます。
(60歳代 女性)

議場の中が整然としている感じがした。
(70歳代 男性)

議会ポストを、議会が開催されない期間は、1階玄関ホールに移動しました。議会中は、従来どおり3階傍聴席に設置しています。6月議会でご意見をいただきましたので、その一部をご紹介します。

ご意見ありがとうございました。

改善できるところは
対処していきたいと考えています

みのりある議会改革